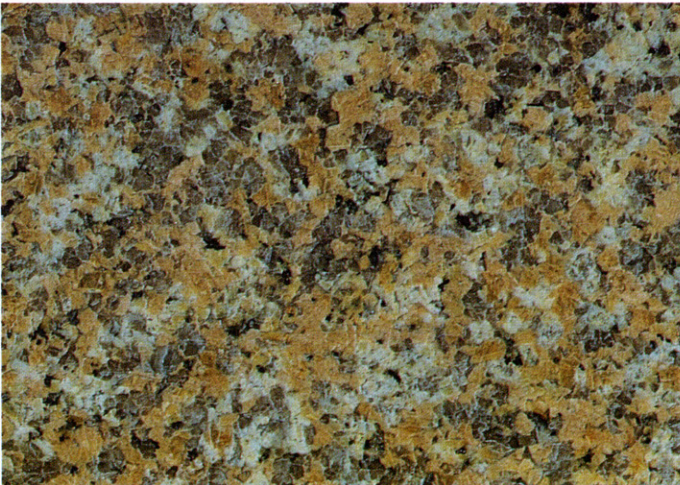
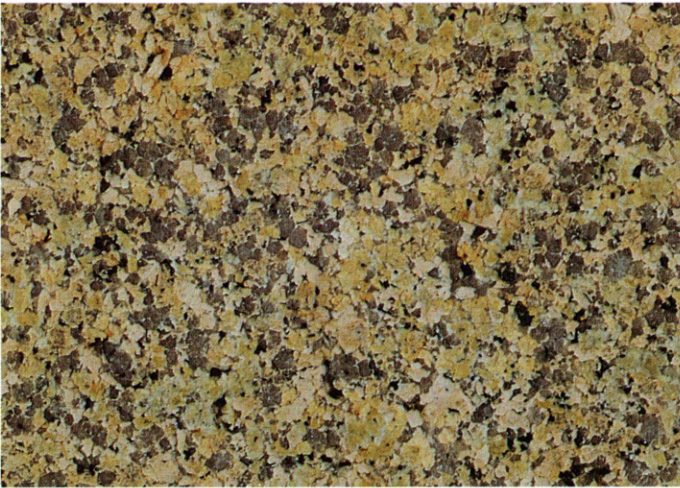


1. 国会議事堂に使われた議院石(左, 倉橋島納), とその南方2 kmの尾立の白みかげ(右). (試料提供 関ヶ原石材㈱, 等倍).



日本の白みかげ

花崗岩で代表される深成岩は、石材関係では「みかげ」と呼称されている。斑禰岩や閃緑岩の様に色指数が高いものは黒みかげ、花崗閃緑岩や花崗岩は白みかげと呼ばれる。白みかげは厳密にはカリ長石の色によってピンク系と白色系(口絵1参照)に分けられる。ピンク系は中国地方に多くみられ、中部地方には稀である。また、領家帯の花崗岩類にもほとんど産出しない。我が国全体としては白色系が多い。

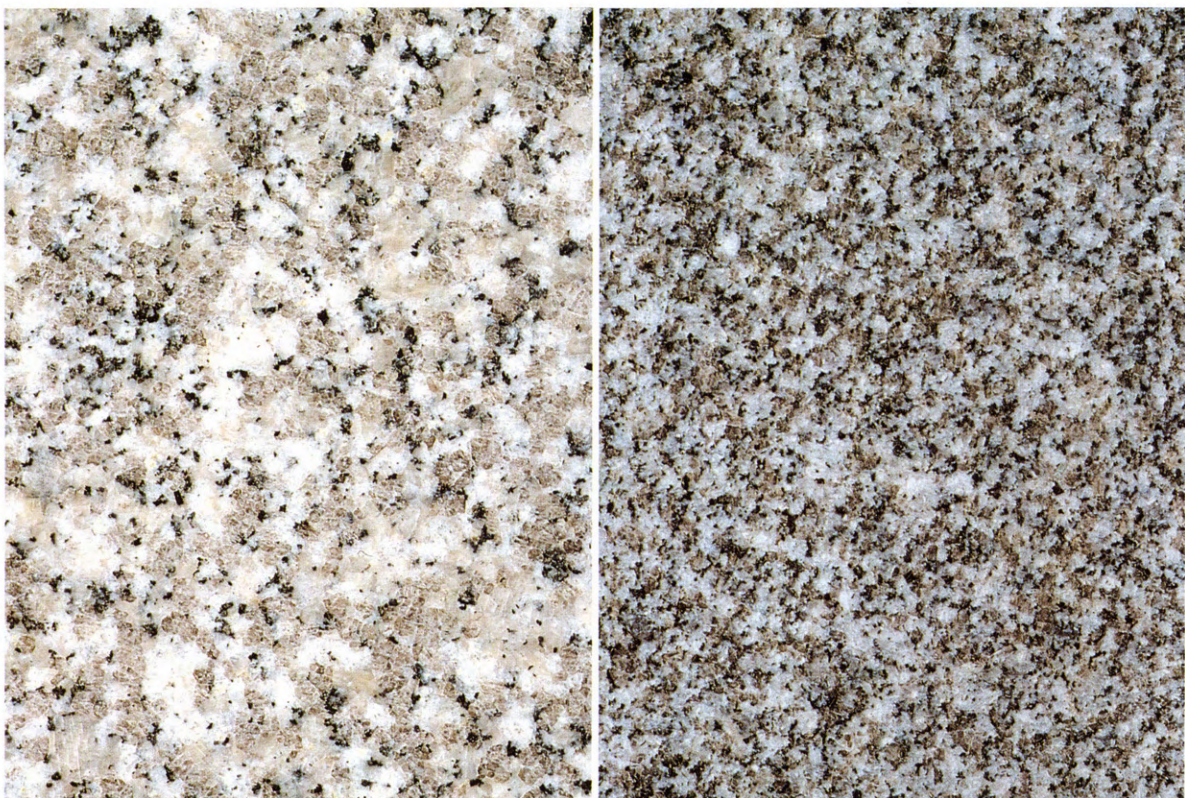
みかげは神戸市東灘区御影に産し、用いられる石材につけられたもので、ここはピンク系黒雲母花崗岩である。だから、みかげは本来は黒みかげに対しては用いない方がよい。御影には大きな石切場は今も昔もみられない。六甲衡上などで岩石が破碎されて適当な大きさの玉石となって住吉川に流出し、その利用の歴史が古いために名が残ったようである。

(地質調査所 石原舜三・岡山大学教養部地学教室 濡木輝一)

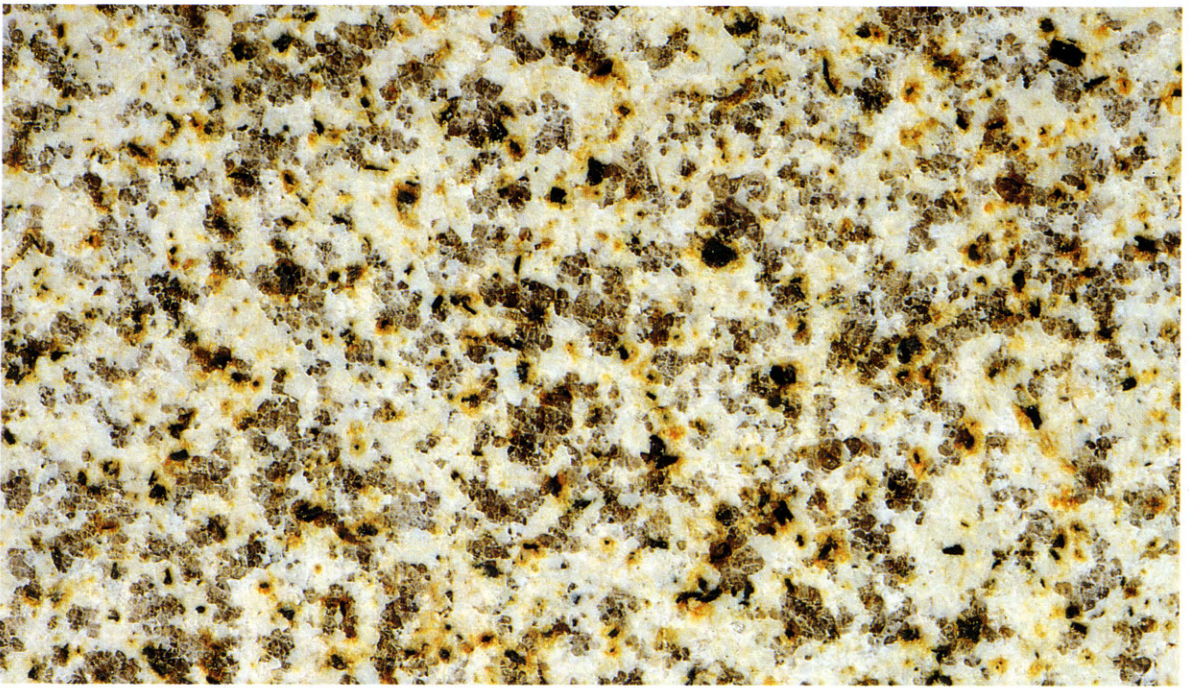
2. 神戸市御影のみかげ石。ピンク系であるが玉によって色が違う。「カサ」と呼ばれる晶洞が特徴的で(上)、浅成の岩石であることをうかがわせる(試料提供 榎石久, 等倍)。



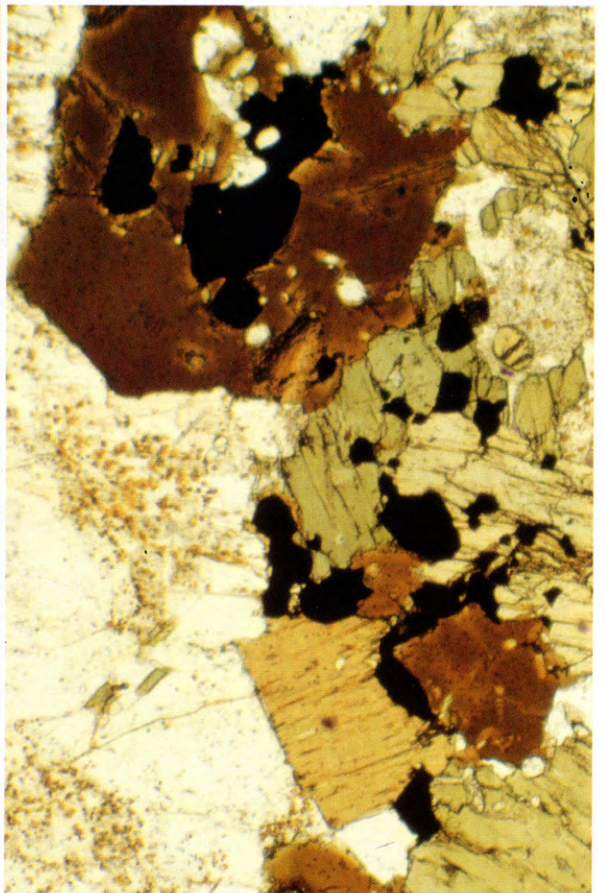
3. 万成石. 中国地方の花崗岩類は多少ともカリ長石に桃色を伴っているが, 中部地方や領家帯の花崗岩類はほとんど白色系である, 日本におけるピンク系の代表は岡山市の万成石である(等倍, 本文41-45頁参照).



4. 瀬戸内海の北木石(左)と大島石特級(右). 岡山県, 北木島の岩石は中~粗粒黒雲母花崗岩, 白色系が主体であるが, カリ長石が桃色を帯びるピンク系も産出する, 地表近くからは鎊石も得られる(試料提供 ㈱馬越道也石材店, 等倍). 一方, 大島石は細粒黒雲母花崗岩が主体であり, 墓石などにもっている.(試料提供 ㈱青山, 等倍)



5. 蛭川みかげ錆石. 岐阜県恵那郡蛭川村の石材は地質家の間では苗木花崗岩と呼ばれる岩体から切出されている. その中に黒雲母に錆(酸化鉄)が生じる種類があって重宝がられている. 石英が黒ずむ点もこのみかげの特徴である(試料提供 柘植石材㈱, 等倍)



6. チタン鉄鉱系(左 $\times 8.4$)と磁鉄鉱系花崗岩(右 $\times 5.6$)の顕微鏡写真. 石材として用いられる日本の花崗岩はほとんど全てチタン鉄鉱系である. チタン鉄鉱系ではFeが黒雲母に入るために黒雲母のZ軸色は褐色系(左, 北海道日高帯サルル産)であり, 磁鉄鉱系(右, 島根県大原郡大東花崗閃緑岩)では磁鉄鉱(粒状, 黒色)に入るために黒雲母はMgに富み, そのZ軸色は暗緑褐色系となる.



8. 白みかけ系の外装材、グリスベルラ(又はホワイトパール、スペイン産)
粗粒斑状黒雲母花崗岩であり、日本では中部地方の天竜峡花崗岩に似ている感じを受けた。

都庁の石

7. 東京都庁西壁。話題の新庁舎はスペイン産の白みかけで包まれ、久しぶりにヨーロッパに負けないリッチな建物を見た気がする。使用天然石材は約279,000m²と言われ、これは東京ドーム球場のグラウンド面積の21倍に当る。



9. ICの配線模様をデザインした外壁と東京都のロゴマーク(都木のイチョウの葉)。